

2020年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

保 健 体 育

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから3ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 試験終了後に実技試験の指示があります。
- 7 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 次の文は、高等学校学習指導要領（平成21年3月告示）の教科「保健体育」の「各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。後の(1)～(3)の問いに答えなさい。

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。
(1) 第1章総則第1款の3に示す学校における体育・健康に関する指導の趣旨を生かし、
(①), 運動部の活動などとの関連を図り、日常生活における体育・健康に関する活動が適切かつ (②) に実践できるよう留意するものとする。なお、(③) の測定については、計画的に実施し、運動の指導及び (③) の向上に活用するものとする。

- (1) 文中の (①) ～ (③) に当てはまる語句を書け。
- (2) 下線部について、平成30年3月にスポーツ庁が策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」において、次の①～③の休養日及び活動時間の基準はどのように設定されているか、答えよ。
① 週当たりの休養日 ② 平日の活動時間 ③ 休業日の活動時間
- (3) 指導計画の作成と内容の取扱いに当たり留意すべきこととして、次の①～⑥の文章の下線部の内容が適切であれば「○」を、誤りであれば正しい文章を書け。
① 「体づくり運動」は入学年次で7単位時間、その次の年次で10単位時間程度配当すること。
② 入学年次では、「ダンス」及び「武道」のまとまりの中から1領域以上を選択して履修できるようにすること。
③ 入学年次の次の年次以降では、「陸上競技」、「水泳」、「球技」、「武道」及び「ダンス」の中から2領域以上を選択して履修できるようにすること。
④ 能率的で安全な集団としての行動の仕方（集団行動）は、「体育理論」において適切に行うこと。
⑤ 相撲、なぎなた、弓道などのその他の武道は、原則として柔道又は剣道に加えて履修させることができる。
⑥ 「保健」は、原則として入学年次の次の年次以降の2か年にわたって履修させること。

- 2 次の文は、高等学校学習指導要領（平成21年3月告示）の教科「保健体育」科目「体育」領域「体育理論」の内容の取扱いについて述べられたものである。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。なお、枠内の文章にある(1)～(3)は、問題文の(1)～(3)を示しているものではない。

ク 「H体育理論」については、a (1)は入学年次、b (2)はその次の年次、c (3)はそれ以降の年次で取り上げること。

- (1) 「体育理論」では、授業時数を各年次で何単位時間以上を配当することとしているか答えよ。また、そのようにした理由を答えよ。
- (2) 下線部 a について、入学年次で取り上げる内容を答えよ。
- (3) 下線部 b について、運動やスポーツの技能の上達過程においては3つの段階に分ける考え方があるが、3つの段階を全て答えよ。また、この技能の上達過程で起こる「スランプ」について説明せよ。
- (4) 下線部 c について、生涯スポーツにおいて、障害の有無にかかわらず、一人一人の能力や体力に応じて楽しめるスポーツを何というか答えよ。

- (5) 各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方について、運動やスポーツへのかかわり方には「する」「みる」「支える」「知る（調べる）」といった4つのかかわり方がある。この4つのかかわり方を用いて、各ライフステージにおける運動やスポーツの多様な楽しみ方があることを理解するためにどのようなグループワークがあるか具体例を答えよ。

3 領域「球技」について、(1)～(5)の問いに答えなさい。

- (1) 高等学校学習指導要領（平成21年3月告示）で示されているゴール型の運動種目を全て答えよ。
- (2) 次の①～④におけるゴール型の運動種目の技能として、高等学校学習指導要領解説「保健体育編・体育編」（平成21年12月）に例示されているものを、それぞれ1つ答えよ。
- ① 安定したボール操作
 - ② 状況に応じたボール操作
 - ③ 空間を作り出すなどの連携した動き
 - ④ 空間を埋めるなどの連携した動き
- (3) 次の①～④は、ネット型の運動種目を取り上げた授業における技能面での生徒のつまずきの例である。生徒のつまずきを解消するための指導方法（練習方法）と指導のポイントを答えよ。
- ① 卓球で、サーブした球が高く浮いてしまうので、相手のチャンスボールになってしまう。
 - ② バレーボールのスパイクで、ジャンプをするタイミングをつかめず、高い打点で打てない。
 - ③ バドミントンで、ハイクリアーを高く遠くに飛ばすことができない。
 - ④ テニスのダブルスで、味方と交錯してしまう。
- (4) ソフトボールの授業で試合をする場合、事故を防止するために配慮すべきこととしてどのようなことが考えられるか。「①教師がコートを作る上での工夫」、「②生徒に徹底させるべき事柄」をそれぞれ2つずつ答えよ。
- (5) バレーボールの授業で、習得した技能を使って簡易的な試合を行うことにした。その際、ラリーを長く続けることができるようにするための工夫としてどのようなことが考えられるか。①ルール上の工夫、②用具や場の工夫、をそれぞれ2つずつ答えよ。

4 科目「保健」について、(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 「精神の健康」について、次の①～③の問いに答えよ。
- ① 大脳で、主に人間が生きていくために必要な原始的な欲求や感情を起こす働きをしている部位を何というか答えよ。また、この部位に囲まれている脳幹の働きを答えよ。
 - ② 大地震や大事故など実際に死傷するような出来事を体験したり、目撃したりしたとき、それが心の傷となり、ストレスの症状が出る場合がある。これを何というか答えよ。
 - ③ ストレスについては、心と体が密接に関連している。高等学校学習指導要領解説「保健体育編・体育編」（平成21年12月）において、「精神の健康」と関連を図るとされている科目「体育」の領域の内容を答えよ。

(2) 科目「保健」の指導計画の作成において、指導内容と特別活動の学校行事との関連を図って計画を作成することとした場合、関連を図る指導内容と学校行事を答えよ。ただし、指導内容は、高等学校学習指導要領（平成21年3月告示）に示されているものとする。

(3) 1954年にアメリカで提案され、現在、熱中症の予防を目的に利用されている指標を何というか答えよ。また、公益財団法人日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」（2019）で示されている熱中症予防運動指針において、その指標が下記の①、②を示したときの対応を答えよ。

① 31℃以上～

② 25℃以上～28℃未満

科目	保健体育解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名	
----	----------	-------	------	--	----	--

(2020年)

1

(1)	①		②		③	
(2)	①		②		③	
(3)	①					
	②					
	③					
	④					
	⑤					
	⑥					

2

(1)	(単位時間)	
	(理由)	
(2)		
(3)	(段階)	(段階)
	(説明)	
(4)		
(5)		

科目	保健体育解答用紙	2枚中の2	受験番号		氏名	
----	----------	-------	------	--	----	--

(2020年)

3

(1)							
(2)	①				②		
	③				④		
(3)	①	(指導方法)			(指導のポイント)		
	②	(指導方法)			(指導のポイント)		
	③	(指導方法)			(指導のポイント)		
	④	(指導方法)			(指導のポイント)		
(4)	①						
	②						
(5)	①						
	②						

4

(1)	①	(部位)					
		(脳幹の働き)					
(2)	②				③		
		(指導内容)			(学校行事)		
(3)		(指標)					
	①				②		

以下はあくまでも解答の一例です。

科目	保健体育解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名	
----	----------	-------	------	--	----	--

(2020年)

1

(1)	①	特別活動	②	継続的	③	体力	各1点
(2)	①	2日以上	②	2時間程度	③	3時間程度	各1点
(3)	①	各年次で7～10単位時間程度					各2点
	②	球技					
	③	「器械運動」、「陸上競技」、「水泳」、「球技」、「武道」及び「ダンス」					
	④	「体づくり運動」から「ダンス」までの領域					
	⑤	○					
	⑥	入学年次とその次の年次の2か年					

2

(1)	(単位時間)	6単位時間以上		2点			
	(理由)	事例などを用いたディスカッションや課題学習などを各学校の実態に応じて取り入れることができるように配慮したため			3点		
(2)	スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴				2点		
(3)	(段階)	試行錯誤の段階	(段階)	意図的な調整の段階	(段階)	自動化の段階	各1点
	(説明)	技能の上達過程で起きる一時的な低下により、実力があるのに、それを発揮できない状態 など				2点	
(4)	アダプテッドスポーツ				2点		
(5)	家族や周囲の大人がどのように運動やスポーツに関わっているかをグループ内で付箋に書き出し、4つのかわり方に分類するなど				3点		

科目	保健体育解答用紙	2枚中の2	受験番号		氏名	
----	----------	-------	------	--	----	--

(2020年)

3

(1)	バスケットボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー				2点
(2)	①	味方が操作しやすいパスを送ること など	②	味方が作りだした空間にパスを送ること など	
	③	パスを出した後に次のパスを受ける動きをすること など	④	自陣から相手陣地の侵入しやすい場所に移動すること など	各2点
(3)	①	(指導方法) ネット上30cmにバーを設置し、サーブした球がバーの下を通るように打つ練習をする。 など	(指導のポイント) サーブが高く浮かないために低い位置からラケットを立ててサーブするよう指導する。 など		
	②	(指導方法) トスされたボールを3歩の助走で両手を頭上に伸ばしてキャッチする練習をする。 など	(指導のポイント) ジャンプの最高到達点でボールをキャッチできるように意識させる。 など		
	③	(指導方法) 高い打点となる位置にぶら下げたタオルを打つ練習をする。 など	(指導のポイント) 安定したフォームを身につけ、高い位置で打てるよう指導する。 など		
	④	(指導方法) ダブルスの2人の間に来たボールを返球する練習をする。 など	(指導のポイント) 2人で声を掛け、どちらが返球するか確認するよう指導する。 など		
(4)	①	ネクストバッターズサークルをバッターボックスから離れた位置にする。 など	複数のコートを作る場合は、外野手が交錯しないよう配慮した配置にする。 など		
	②	キャッチャーは必ずマスクを装着するよう指導する。 など	バッターが打球後にバットを投げないよう指導する。 など		
(5)	①	ワンバウンドまで可とする など	4回で返球してもよいこととする など		
	②	ネットを低くして、ネットにかかりにくくするなど	コートを狭くして1人がカバーするエリアを狭くする など		

4

(1)	①	(部位) 大脳辺縁系 1点			
	(脳幹の働き) 生命の維持のために重要な肺や心臓などの働きを調節する など 2点				
	②	PTSD (心的外傷後ストレス障害) 2点	③	体ほぐしの運動 2点	
(2)	(指導内容) 薬物乱用と健康 など		(学校行事) 薬物乱用防止教室 など 両方できて2点		
(3)	(指標) 湿球黒球温度 (WBGT) 2点				
	①	運動は原則中止 2点		②	警戒 (積極的に休息) 2点